農林水産統計
Statistics of Agriculture, Forestry and Fisheries
農林水産省
大臣官房統計部
令和４年12月９日公表

作 物 統 計 調 査
令 和 ４ 年 産 水 陸 稲 の 収 穫 量

－　水稲の収穫量（主食用）は670万1,000ｔ　－

【調査結果の概要】

1　令和４年産水稲の作付面積（子実用）は135万5,000haで、前年産に比べ４万8,000ha減少した。うち主食用作付面積は125万1,000haで、前年産に比べ５万2,000ha減少した。

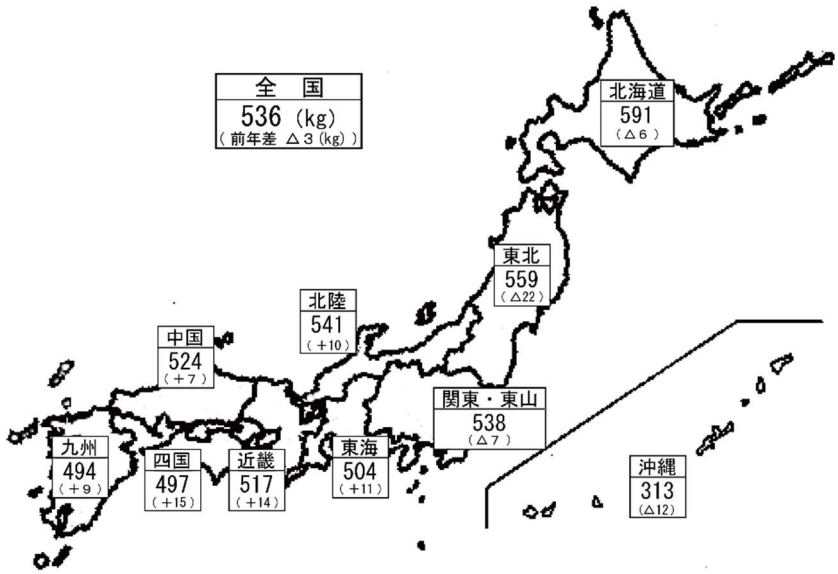
2　全国の10ａ当たり収量は536kgが見込まれる。

3　以上の結果、収穫量（子実用）は726万9,000ｔで、前年産に比べ29万4,000ｔの減少が見込まれる。このうち、主食用の収穫量は670万1,000ｔで、前年産に比べ30万6,000ｔの減少が見込まれる。

4　なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の作況指数は100となる見込み。

5　令和４年産陸稲の作付面積（子実用）は468haで、10ａ当たり収量は216kgとなり、収穫量（子実用）は1,010ｔとなった。

図１　水稲の全国農業地域別10ａ当たり収量



○　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
○　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
○　10ａ当たり収量及び収穫量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
○　沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のＵＲＬから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】

◎　調査結果の主な利活用

- 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成６年法律第 113 号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定のための資料
- 食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証のための資料
- 米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の交付金算定のための資料
- 農業保険法（昭和 22 年法律第 185 号）に基づく農作物共済事業の適切な運営のための資料

◎　累年データ

水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）

年　産	水陸稲計		水稲					
	作付面積（子実用）	収穫量（子実用）	作付面積（子実用）	10ａ当たり収量	収穫量（子実用）	主食用作付面積	収穫量（主食用）	作況指数
	ha	t	ha	kg	t	ha	t	
平成14年産	1,688,000	8,889,000	1,683,000	527	8,876,000	…	…	101
15	1,665,000	7,792,000	1,660,000	469	7,779,000	…	…	90
16	1,701,000	8,730,000	1,697,000	514	8,721,000	…	…	98
17	1,706,000	9,074,000	1,702,000	532	9,062,000	…	…	101
18	1,688,000	8,556,000	1,684,000	507	8,546,000	…	…	96
19	1,673,000	8,714,000	1,669,000	522	8,705,000	…	…	99
20	1,627,000	8,823,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	102
21	1,624,000	8,474,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	98
22	1,628,000	8,483,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	98
23	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	101
24	1,581,000	8,523,000	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	102
25	1,599,000	8,607,000	1,597,000	539	8,603,000	1,522,000	8,182,000	102
26	1,575,000	8,439,000	1,573,000	536	8,435,000	1,474,000	7,882,000	101
27	1,506,000	7,989,000	1,505,000	531	7,986,000	1,406,000	7,442,000	100
28	1,479,000	8,044,000	1,478,000	544	8,042,000	1,381,000	7,496,000	103
29	1,466,000	7,824,000	1,465,000	534	7,822,000	1,370,000	7,306,000	100
30	1,470,000	7,782,000	1,470,000	529	7,780,000	1,386,000	7,327,000	98
令和元	1,470,000	7,764,000	1,469,000	528	7,762,000	1,379,000	7,261,000	99
2	1,462,000	7,765,000	1,462,000	531	7,763,000	1,366,000	7,226,000	99
3	1,404,000	7,564,000	1,403,000	539	7,563,000	1,303,000	7,007,000	101
4（概数値）	**1,355,000**	**7,270,000**	**1,355,000**	**536**	**7,269,000**	**1,251,000**	**6,701,000**	**100**

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：１　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

２　10ａ当たり収量及び収穫量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。

３　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

４　作況指数は、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり収量の比率であり、平成26年産以前は1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までは、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和２年産以降は、都道府県ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

５　「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合 45%）以上に相当するよう、ふるい目幅 1.70㎜ 以上で選別された玄米の重量（未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。）としている（23 ページ【参考１】参照）。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別 10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

表１　ふるい目幅別重量分布状況の推移（全国）

単位：%

年　産	計	1.70㎜以上 1.75㎜未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00㎜ 以　上
平成29年産	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
令和元	100.0	0.7	1.4	1.9	2.8	15.3	77.9
2	100.0	0.7	1.4	1.9	2.9	14.4	78.7
3	100.0	0.8	1.4	1.8	2.8	14.7	78.5
4　（概数値）	**100.0**	**0.9**	**1.5**	**1.9**	**2.9**	**14.9**	**77.9**
平 均 値	100.0	0.8	1.5	2.0	2.9	15.6	77.2
対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.1	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.7	0.7

注：平均値は、直近５か年の重量割合の平均である。

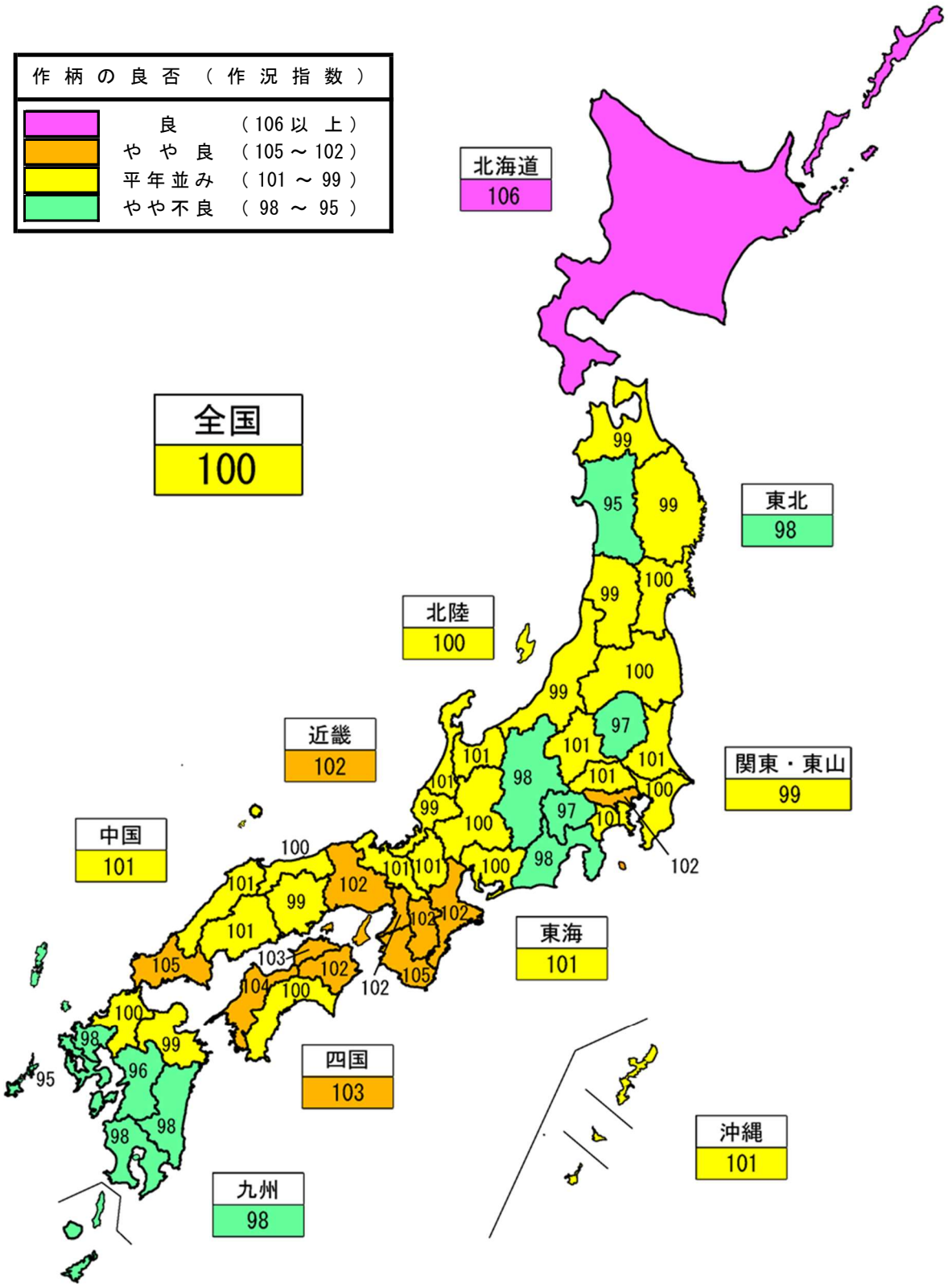
表２　ふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の推移（全国）

年　産		単位	1.70㎜ 以　上	1.75㎜ 以　上	1.80㎜ 以　上	1.85㎜ 以　上	1.90㎜ 以　上	2.00㎜ 以　上
平成29年産	10ａ当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30	10ａ当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
令和元	10ａ当たり収量	kg	528	524	517	507	492	411
	収穫量	t	7,762,000	7,708,000	7,599,000	7,452,000	7,234,000	6,047,000
2	10ａ当たり収量	kg	531	527	520	510	494	418
	収穫量	t	7,763,000	7,709,000	7,600,000	7,452,000	7,227,000	6,109,000
3	10ａ当たり収量	kg	539	535	527	517	502	423
	収穫量	t	7,563,000	7,502,000	7,397,000	7,260,000	7,049,000	5,937,000
4（概数値）	**10ａ当たり収量**	kg	**536**	**531**	**523**	**513**	**497**	**418**
	収穫量	t	**7,269,000**	**7,204,000**	**7,095,000**	**6,956,000**	**6,746,000**	**5,663,000**
	対前年比（収穫量）	%	96	96	96	96	96	95

注：１　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、10ａ当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

２　ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

図２　全国農業地域・都道府県別作況指数



注：１　作況指数は、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

２　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

【調査結果】

1　作柄概況（統計表 10、11、22 ページ参照）

(1) 水　稲

ア　令和４年産水稲の作付面積（子実用）は 135 万 5,000ha（前年産に比べ４万 8,000ha 減少）で、このうち、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は 125 万 1,000ha（前年産に比べ５万 2,000ha 減少）となった。

イ　水稲の全国農業地域別の 10ａ当たり収量は、北海道、東海、近畿、中国、四国及び沖縄においては、田植期以降の天候に恵まれ、全もみ数が平年以上に確保されたことから、北海道は 591kg（前年産に比べ 6 kg減少）、東海は 504kg（同 11 kg増加）、近畿は 517kg（同 14 kg増加）、中国は 524kg（同 7 kg増加）、四国は 497kg（同 15 kg増加）、沖縄は 313kg(同 12kg 減少)となった。

一方、６月前半の低温・日照不足や７月中旬の日照不足等の影響により、全もみ数が平年を下回る地域や８月上旬からの大雨と日照不足、９月以降の台風等による影響により登熟が平年を下回る地域があったことから、東北は 559kg（前年産に比べ 22 kg減少）、北陸は 541kg（同 10kg 増加）、関東・東山は 538kg（同７kg減少）、九州は 494kg（同９kg増加）となった。

この結果、全国の 10ａ当たり収量は 536kg（前年産に比べ３kg 減少）が見込まれる。

ウ　以上の結果、収穫量（子実用）は 726 万 9,000ｔ（前年産に比べ 29 万 4,000t 減少）が見込まれる。このうち、主食用作付面積に 10ａ当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は、670 万 1,000ｔ（前年産に比べ 30 万 6,000t 減少）が見込まれる。

表３　令和４年産水稲の作付面積及び収穫量

全国農業地域	作付面積（子実用）			10ａ当たり収量		収穫量（子実用）			主食用作付面積	収穫量（主食用）	作況指数
	実　数	前年産との比較		実　数	前年産との比較	実　数	前年産との比較				
	①	対差	対比	②	対差	③＝①×②	対差	対比	④	⑤＝④×②	
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全　国	1,355,000	△ 48,000	97	536	△ 3	7,269,000	△ 294,000	96	1,251,000	6,701,000	100
北海道	93,600	△ 2,500	97	591	△ 6	553,200	△ 20,500	96	82,500	487,600	106
東　北	348,300	△ 14,700	96	559	△ 22	1,948,000	△ 162,000	92	308,200	1,723,000	98
北　陸	198,200	△ 3,600	98	541	10	1,072,000	0	100	173,500	938,800	100
関東・東山	240,100	△ 13,000	95	538	△ 7	1,291,000	△ 89,000	94	227,200	1,223,000	99
東　海	87,100	△ 2,500	97	504	11	438,800	△ 2,900	99	85,300	429,900	101
近　畿	96,400	△ 2,900	97	517	14	498,400	△ 1,300	100	92,800	479,500	102
中　国	95,800	△ 3,000	97	524	7	501,600	△ 9,400	98	92,800	486,400	101
四　国	44,600	△ 1,300	97	497	15	221,600	200	100	44,000	218,400	103
九　州	150,100	△ 5,000	97	494	9	741,300	△ 10,700	99	144,400	713,200	98
沖　縄	639	△ 27	96	313	△ 12	2,000	△ 160	93	604	1,890	101

注：１　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
２　10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
３　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
４　収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。
５　作況指数は、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

(2) 陸　稲

令和４年産陸稲の作付面積（子実用）は 468ha（前年産に比べ 85ha 減少）で、10ａ当たり収量は 216kg（前年産に比べ 14kg 減少）となり、収穫量（子実用）は 1,010ｔ（前年産に比べ 260ｔ減少）となった。

２　水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）等（統計表 14～19 ページ参照）

令和４年産水稲のふるい目幅別重量分布状況は、全国平均の1.85㎜以上の玄米の重量割合は95.7％と、直近５か年平均値と同様となっている。

表４　ふるい目幅別重量分布状況

単位：％

全国農業地域	区分	計	1.70㎜以上1.75㎜未満	1.75～1.80	1.80～1.85	1.85～1.90	1.90～2.00	2.00㎜以上
全国	重量割合	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
	平均値	100.0	0.8	1.5	2.0	2.9	15.6	77.2
	対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.1	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.7	0.7
北海道	重量割合	100.0	0.7	1.0	1.2	1.9	10.4	84.8
	平均値	100.0	0.6	0.9	1.2	1.9	10.5	84.9
	対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1
東北	重量割合	100.0	0.7	1.2	1.5	2.4	13.9	80.3
	平均値	100.0	0.6	1.2	1.6	2.5	13.8	80.3
	対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.1	0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.1	0.0
北陸	重量割合	100.0	0.9	1.2	1.4	2.6	13.1	80.8
	平均値	100.0	0.7	1.2	1.7	2.7	14.8	78.9
	対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.2	0.0	△ 0.3	△ 0.1	△ 1.7	1.9
関東･東山	重量割合	100.0	1.0	1.5	2.1	3.5	19.3	72.6
	平均値	100.0	0.9	1.5	2.1	3.3	19.2	73.0
	対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.1	△ 0.4
東海	重量割合	100.0	0.8	1.3	1.6	2.3	8.7	85.3
	平均値	100.0	0.8	1.3	2.0	2.5	12.8	80.6
	対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.0	0.0	△ 0.4	△ 0.2	△ 4.1	4.7
近畿	重量割合	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	12.7	80.1
	平均値	100.0	0.9	1.6	2.0	2.8	14.3	78.4
	対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	0.1	△ 1.6	1.7
中国	重量割合	100.0	0.9	1.6	2.0	2.7	13.4	79.4
	平均値	100.0	0.9	1.5	2.1	2.8	14.1	78.6
	対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.0	0.1	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.7	0.8
四国	重量割合	100.0	1.2	1.9	2.6	3.6	16.6	74.1
	平均値	100.0	1.2	2.0	2.6	3.5	17.6	73.1
	対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.0	△ 0.1	0.0	0.1	△ 1.0	1.0
九州	重量割合	100.0	1.4	2.8	3.3	4.9	21.7	65.9
	平均値	100.0	1.4	2.6	3.4	4.9	22.6	65.1
	対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.0	0.2	△ 0.1	0.0	△ 0.9	0.8
沖縄	重量割合	100.0	1.4	2.1	2.9	3.6	15.3	74.7
	平均値	100.0	0.7	1.3	1.9	2.8	13.3	80.0
	対平均差(ﾎﾟｲﾝﾄ)	0.0	0.7	0.8	1.0	0.8	2.0	△ 5.3

注：平均値は、直近５か年の重量割合の平均である。

表５　ふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）

全国 農業地域	区分	単位	1.70㎜ 以上	1.75㎜ 以上	1.80㎜ 以上	1.85㎜ 以上	1.90㎜ 以上	2.00㎜ 以上
全国	10ａ当たり収量	kg	536	531	523	513	497	418
	収穫量(子実用)	t	7,269,000	7,204,000	7,095,000	6,956,000	6,746,000	5,663,000
北海道	10ａ当たり収量	kg	591	587	581	574	563	501
	収穫量(子実用)	t	553,200	549,300	543,800	537,200	526,600	469,100
東北	10ａ当たり収量	kg	559	555	548	540	527	449
	収穫量(子実用)	t	1,948,000	1,934,000	1,911,000	1,882,000	1,835,000	1,564,000
北陸	10ａ当たり収量	kg	541	536	530	522	508	437
	収穫量(子実用)	t	1,072,000	1,062,000	1,049,000	1,034,000	1,007,000	866,200
関東･東山	10ａ当たり収量	kg	538	533	525	513	494	391
	収穫量(子実用)	t	1,291,000	1,278,000	1,259,000	1,232,000	1,186,000	937,300
東海	10ａ当たり収量	kg	504	500	493	485	474	430
	収穫量(子実用)	t	438,800	435,300	429,600	422,600	412,500	374,300
近畿	10ａ当たり収量	kg	517	512	505	495	480	414
	収穫量(子実用)	t	498,400	493,900	486,400	477,000	462,500	399,200
中国	10ａ当たり収量	kg	524	519	511	500	486	416
	収穫量(子実用)	t	501,600	497,100	489,100	479,000	465,500	398,300
四国	10ａ当たり収量	kg	497	491	482	469	451	368
	収穫量(子実用)	t	221,600	218,900	214,700	209,000	201,000	164,200
九州	10ａ当たり収量	kg	494	487	473	457	433	326
	収穫量(子実用)	t	741,300	730,900	710,200	685,700	649,400	488,500
沖縄	10ａ当たり収量	kg	313	309	302	293	282	234
	収穫量(子実用)	t	2,000	1,970	1,930	1,870	1,800	1,490

注：１　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、全国又は全国農業地域別の10ａ当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。
　　２　ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国又は全国農業地域別の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

表６　令和４年産水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布

【令和４年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞取り結果】

単位：％

全国 農業地域	計	1.70㎜以上 1.75㎜未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00㎜ 以上
全国	100.0	0.1	2.0	24.0	38.3	35.0	0.6
北海道	100.0	0.3	－	1.1	19.7	76.3	2.6
東北	100.0	－	－	0.3	16.6	83.0	0.1
北陸	100.0	－	0.1	1.3	34.3	63.9	0.4
関東・東山	100.0	0.3	4.4	41.4	51.7	1.9	0.3
東海	100.0	0.3	1.6	31.0	58.6	8.1	0.4
近畿	100.0	0.2	8.2	39.9	31.7	17.6	2.4
中国	100.0	0.1	0.2	11.5	64.0	23.8	0.4
四国	100.0	－	4.7	71.4	23.2	0.7	－
九州	100.0	0.2	0.7	43.2	48.2	7.7	－
沖縄	100.0	－	25.0	75.0	－	－	－

注：　農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稲作況標本（基準）筆農家が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

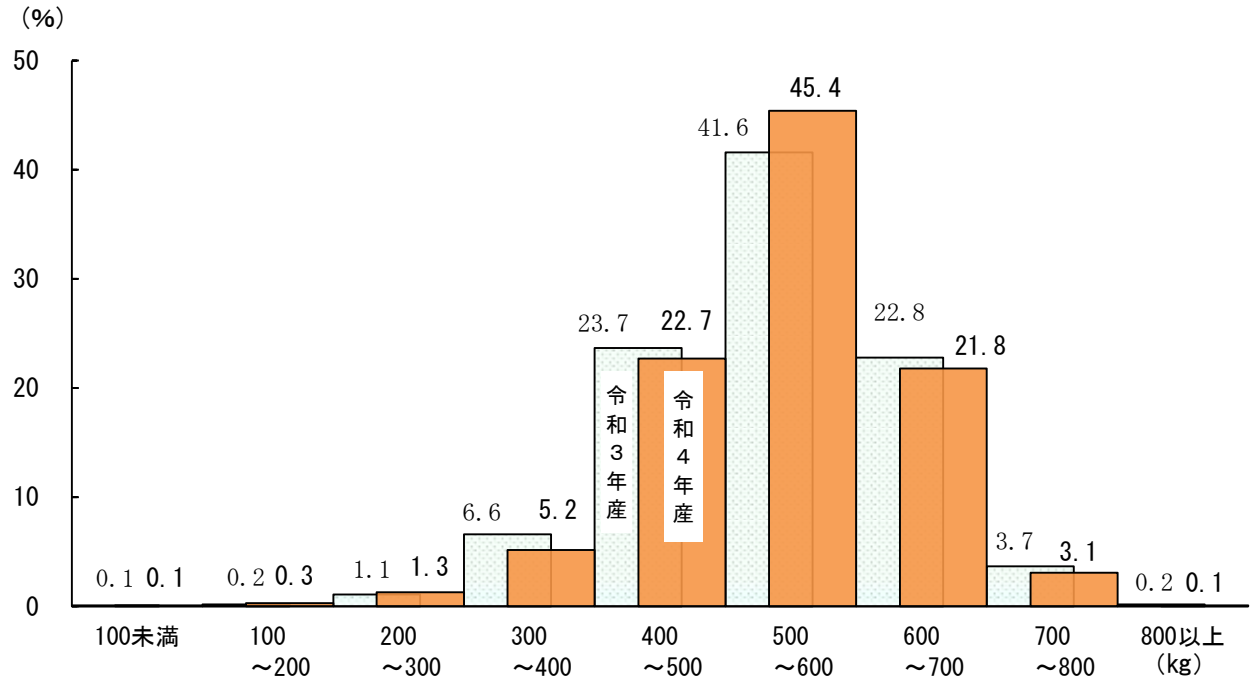
表７　令和４年産水稲の作況標本筆の10ａ当たり玄米重の分布状況

単位：％

全国農業地域	区分	計	100kg未満	100～200	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800kg以上
全国	筆数割合	100.0	0.1	0.3	1.3	5.2	22.7	45.4	21.8	3.1	0.1
	前年値	100.0	0.1	0.2	1.1	6.6	23.7	41.6	22.8	3.7	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.1	0.2	△ 1.4	△ 1.0	3.8	△ 1.0	△ 0.6	△ 0.1
北海道	筆数割合	100.0	0.2	－	0.2	1.5	9.8	38.5	41.8	8.0	－
	前年値	100.0	0.2	－	0.2	1.2	7.5	33.7	50.7	6.3	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	－	0.0	0.3	2.3	4.8	△8.9	1.7	△ 0.2
東北	筆数割合	100.0	－	0.2	0.8	2.8	14.0	44.5	31.6	5.9	0.2
	前年値	100.0	－	0.2	0.8	3.1	12.5	34.3	37.8	10.4	0.9
	対前年差(ポイント)	0.0	－	0.0	0.0	△ 0.3	1.5	10.2	△ 6.2	△ 4.5	△ 0.7
北陸	筆数割合	100.0	0.1	0.2	0.8	3.9	18.8	51.5	23.4	1.3	－
	前年値	100.0	－	0.2	0.6	4.2	22.6	49.0	21.8	1.6	－
	対前年差(ポイント)	0.0	0.1	0.0	0.2	△ 0.3	△ 3.8	2.5	1.6	△ 0.3	－
関東・東山	筆数割合	100.0	－	0.2	0.5	4.1	21.4	46.9	21.6	4.7	0.6
	前年値	100.0	－	0.1	0.4	5.0	18.6	45.2	26.6	3.9	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	－	0.1	0.1	△ 0.9	2.8	1.7	△ 5.0	0.8	0.4
東海	筆数割合	100.0	－	0.4	1.1	6.6	30.1	48.9	12.6	0.3	－
	前年値	100.0	－	0.1	1.9	10.1	31.8	44.9	10.6	0.5	0.1
	対前年差(ポイント)	0.0	－	0.3	△ 0.8	△ 3.5	△ 1.7	4.0	2.0	△ 0.2	△ 0.1
近畿	筆数割合	100.0	0.1	0.4	1.8	7.0	24.8	44.9	18.8	2.2	－
	前年値	100.0	0.4	0.1	1.8	7.7	29.5	46.6	13.1	0.8	－
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.3	0.3	0.0	△ 0.7	△ 4.7	△ 1.7	5.7	1.4	－
中国	筆数割合	100.0	0.3	0.5	2.0	6.3	21.8	44.6	21.8	2.6	0.1
	前年値	100.0	0.1	1.1	1.3	7.9	25.2	42.8	18.7	2.9	－
	対前年差(ポイント)	0.0	0.2	△ 0.6	0.7	△ 1.6	△ 3.4	1.8	3.1	△ 0.3	0.1
四国	筆数割合	100.0	0.2	0.3	3.3	9.7	33.3	40.0	11.5	1.5	0.2
	前年値	100.0	0.3	0.5	2.6	13.8	35.6	35.1	11.1	0.8	0.2
	対前年差(ポイント)	0.0	△ 0.1	△ 0.2	0.7	△ 4.1	△ 2.3	4.9	0.4	0.7	0.0
九州	筆数割合	100.0	0.4	0.5	2.2	7.7	34.5	43.8	10.6	0.3	－
	前年値	100.0	0.4	0.1	1.7	10.6	37.3	41.4	8.2	0.3	－
	対前年差(ポイント)	0.0	0.0	0.4	0.5	△ 2.9	△ 2.8	2.4	2.4	0.0	－

注：１　10ａ当たり玄米重は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
　　２　沖縄については、作況標本筆を設置していないことから、調査結果を表記していない。

図３　令和４年産水稲の作況標本筆の10ａ当たり玄米重の分布状況（全国）



【統　　計　　表】

統計表一覧

ページ

1　令和４年産水稲の作付面積及び収穫量 …… 10

2　令和４年産水稲の収量構成要素（水稲作況標本筆調査成績） …… 12

3　令和４年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況 …… 14

4　令和４年産水稲玄米のふるい目幅別 10ａ当たり収量 …… 16

5　令和４年産水稲玄米のふるい目幅別収穫量（子実用） …… 17

6　令和４年産水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布 …… 18

7　令和４年産水稲の作況標本筆の 10ａ当たり玄米重の分布状況 …… 19

8　令和４年産水稲の作柄表示地帯別作況指数 …… 20

9　令和４年産水稲の被害面積及び被害量（全国） …… 22

10　令和４年産陸稲の作付面積及び収穫量 …… 22

利用上の注意

1　統計数値については、次の方法によって四捨五入しており、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

原　　数		７桁以上（100万）	６桁（10万）	５桁（１万）	４桁（1,000）	３桁以下（100）
四捨五入する桁数（下から）		３桁	２桁		１桁	四捨五入しない
例	四捨五入する前（原数）	1,234,567	123,456	12,345	1,234	123
	四捨五入した数値（統計数値）	1,235,000	123,500	12,300	1,230	123

2　表中に用いた記号は次のとおりである。

「０」、「0.0」：　増減がないもの
「－」　　：　事実のないもの
「…」　　：　事実不詳又は調査を欠くもの
「△」　　：　負数又は減少したもの
「nc」　　：　計算不能

3　この統計表に記載された数値等を他に転載する場合は、「令和４年産水陸稲の収穫量」（農林水産省）による旨を記載してください。

1　令和４年産水稲の作付面積及び収穫量

全国・都道府県		作付面積（子実用）			10ａ当たり収量	農家等が使用しているふるい目幅で選別			
		実数	前年産との比較			最も多い使用割合の目幅	10ａ当たり収量	10ａ当たり平年収量	作況指数
		①	対差	対比	②	③	④	⑤	⑥＝④／⑤
		ha	ha	%	kg	mm	kg	kg	
全国	(1)	1,355,000	△ 48,000	97	536	…	512	512	100
北海道	(2)	93,600	△ 2,500	97	591	1.90	563	530	106
青森	(3)	39,600	△ 2,100	95	594	1.90	567	575	99
岩手	(4)	46,100	△ 2,300	95	537	1.90	508	514	99
宮城	(5)	60,800	△ 3,800	94	537	1.90	511	512	100
秋田	(6)	82,400	△ 2,400	97	554	1.90	517	543	95
山形	(7)	61,500	△ 1,400	98	594	1.90	560	566	99
福島	(8)	57,800	△ 2,700	96	549	1.85	530	532	100
茨城	(9)	60,000	△ 3,500	94	532	1.85	509	505	101
栃木	(10)	50,800	△ 4,000	93	532	1.85	497	515	97
群馬	(11)	14,400	△ 500	97	502	1.80	486	482	101
埼玉	(12)	28,600	△ 1,400	95	498	1.80	484	479	101
千葉	(13)	47,700	△ 2,900	94	544	1.80	535	533	100
東京	(14)	115	△ 5	96	421	1.80	412	403	102
神奈川	(15)	2,880	△ 40	99	501	1.80	481	476	101
新潟	(16)	116,000	△ 1,200	99	544	1.85	525	528	99
富山	(17)	35,500	△ 800	98	556	1.90	523	520	101
石川	(18)	23,100	△ 700	97	532	1.85	515	509	101
福井	(19)	23,500	△ 1,000	96	515	1.90	481	484	99
山梨	(20)	4,790	△ 60	99	532	1.80	518	532	97
長野	(21)	30,800	△ 700	98	608	1.85	589	599	98
岐阜	(22)	20,700	△ 900	96	487	1.80	477	475	100
静岡	(23)	15,000	△ 300	98	509	1.80	501	511	98
愛知	(24)	25,900	△ 500	98	505	1.85	488	490	100
三重	(25)	25,600	△ 700	97	511	1.85	489	478	102
滋賀	(26)	29,000	△ 1,100	96	523	1.90	487	483	101
京都	(27)	14,000	△ 200	99	514	1.85	497	492	101
大阪	(28)	4,540	△ 80	98	503	1.80	489	478	102
兵庫	(29)	34,500	△ 1,300	96	513	1.85	487	477	102
奈良	(30)	8,410	△ 30	100	522	1.80	512	500	102
和歌山	(31)	5,980	△ 120	98	519	1.80	511	485	105
鳥取	(32)	12,100	△ 500	96	514	1.85	494	495	100
島根	(33)	16,400	△ 400	98	519	1.90	485	482	101
岡山	(34)	28,100	△ 700	98	524	1.85	496	500	99
広島	(35)	21,600	△ 600	97	530	1.85	511	508	101
山口	(36)	17,600	△ 800	96	526	1.85	502	480	105
徳島	(37)	9,910	△ 390	96	480	1.80	469	462	102
早期栽培	(38)	3,780	△ 150	96	473	1.80	463	453	102
普通栽培	(39)	6,120	△ 280	96	485	1.80	473	467	101
香川	(40)	10,900	△ 400	96	511	1.80	493	478	103
愛媛	(41)	13,100	△ 100	99	524	1.85	489	468	104
高知	(42)	10,800	△ 200	98	460	1.80	447	446	100
早期栽培	(43)	6,010	△ 180	97	488	1.80	476	471	101
普通栽培	(44)	4,750	△ 100	98	425	1.80	412	414	100
福岡	(45)	33,400	△ 1,200	97	491	1.85	456	456	100
佐賀	(46)	22,800	△ 500	98	514	1.85	479	487	98
長崎	(47)	10,400	△ 400	96	470	1.80	442	466	95
熊本	(48)	31,300	△ 1,000	97	501	1.85	461	479	96
大分	(49)	18,900	△ 700	96	493	1.80	470	476	99
宮崎	(50)	15,400	△ 500	97	488	1.80	474	482	98
早期栽培	(51)	5,740	△ 330	95	502	1.80	490	470	104
普通栽培	(52)	9,620	△ 180	98	480	1.80	465	490	95
鹿児島	(53)	18,000	△ 600	97	478	1.80	460	470	98
早期栽培	(54)	4,250	△ 130	97	465	1.80	453	448	101
普通栽培	(55)	13,800	△ 400	97	482	1.80	463	477	97
沖縄	(56)	639	△ 27	96	313	1.80	305	301	101
第一期稲	(57)	471	△ 10	98	343	1.80	337	357	94
第二期稲	(58)	168	△ 17	91	230	1.80	211	155	136

注：１　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
　　２　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
　　３　収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については、都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

収穫量（子実用）			主食用作付面積 ⑧	収穫量（主食用） ⑨＝⑧×②	
実数 ⑦＝①×②	前年産との比較				
	対差	対比			
t	t	%	ha	t	
7,269,000	△ 294,000	96	1,251,000	6,701,000	(1)
553,200	△ 20,500	96	82,500	487,600	(2)
235,200	△ 21,700	92	33,900	201,400	(3)
247,600	△ 21,000	92	43,700	234,700	(4)
326,500	△ 26,900	92	57,000	306,100	(5)
456,500	△ 44,700	91	69,100	382,800	(6)
365,300	△ 28,500	93	52,700	313,000	(7)
317,300	△ 18,500	94	51,900	284,900	(8)
319,200	△ 25,600	93	58,300	310,200	(9)
270,300	△ 30,600	90	46,100	245,300	(10)
72,300	△ 1,000	99	12,400	62,200	(11)
142,400	△ 10,000	93	27,400	136,500	(12)
259,500	△ 18,300	93	45,500	247,500	(13)
484	△ 2	100	115	484	(14)
14,400	0	100	2,880	14,400	(15)
631,000	11,000	102	99,900	543,500	(16)
197,400	△ 2,600	99	31,300	174,000	(17)
122,900	△ 2,500	98	20,700	110,100	(18)
121,000	△ 5,200	96	21,600	111,200	(19)
25,500	△ 300	99	4,690	25,000	(20)
187,300	△ 2,600	99	29,800	181,200	(21)
100,800	△ 2,400	98	20,000	97,400	(22)
76,400	△ 1,000	99	15,000	76,400	(23)
130,800	△ 100	100	25,200	127,300	(24)
130,800	600	100	25,200	128,800	(25)
151,700	△ 4,500	97	27,700	144,900	(26)
72,000	400	101	13,400	68,900	(27)
22,800	200	101	4,540	22,800	(28)
177,000	1,200	101	32,800	168,300	(29)
43,900	700	102	8,350	43,600	(30)
31,000	700	102	5,980	31,000	(31)
62,200	△ 1,400	98	12,000	61,700	(32)
85,100	△ 2,400	97	16,100	83,600	(33)
147,200	△ 3,700	98	27,100	142,000	(34)
114,500	△ 1,400	99	21,100	111,800	(35)
92,600	△ 500	99	16,600	87,300	(36)
47,600	△ 300	99	9,640	46,300	(37)
17,900	0	100	…	…	(38)
29,700	△ 500	98	…	…	(39)
55,700	△ 900	98	10,800	55,200	(40)
68,600	1,300	102	13,000	68,100	(41)
49,700	100	100	10,600	48,800	(42)
29,300	△ 100	100	…	…	(43)
20,200	△ 200	99	…	…	(44)
164,000	300	100	32,800	161,000	(45)
117,200	△ 1,600	99	22,300	114,600	(46)
48,900	△ 1,900	96	10,400	48,900	(47)
156,800	500	100	30,200	151,300	(48)
93,200	△ 2,300	98	18,800	92,700	(49)
75,200	△ 2,600	97	13,400	65,400	(50)
28,800	△ 400	99	…	…	(51)
46,200	△ 2,300	95	…	…	(52)
86,000	△ 3,100	97	16,600	79,300	(53)
19,800	△ 400	98	…	…	(54)
66,500	△ 2,400	97	…	…	(55)
2,000	△ 160	93	604	1,890	(56)
1,620	△ 90	95	…	…	(57)
386	△ 73	84	…	…	(58)

4　④10ａ当たり収量、⑤10ａ当たり平年収量及び⑥作況指数については、都道府県ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、作期別の備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

2　令和４年産水稲の収量構成要素（水稲作況標本筆調査成績）

全国・都道府県	1㎡当たり株数		1株当たり有効穂数		1㎡当たり有効穂数		1穂当たりもみ数		1㎡当たり全もみ数		千もみ当たり収量	
	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比
	株	%	本	%	本	%	粒	%	百粒	%	g	%
全国 (1)	17.1	99	23.1	100	395	98	76.7	102	303	101	18.2	100
北海道 (2)	21.8	99	24.8	99	540	97	65.4	107	353	104	17.3	102
青森 (3)	18.8	96	21.5	100	405	96	83.5	102	338	98	18.0	101
岩手 (4)	17.4	99	22.7	92	395	92	72.2	107	285	98	19.2	101
宮城 (5)	17.0	100	24.6	94	418	94	71.5	107	299	101	18.5	99
秋田 (6)	18.5	98	21.8	97	404	95	76.5	104	309	98	18.4	98
山形 (7)	19.3	99	24.0	98	464	98	67.9	101	315	98	19.3	101
福島 (8)	16.6	97	23.0	99	381	96	78.0	103	297	99	18.9	101
茨城 (9)	15.7	99	24.5	100	384	100	80.5	100	309	100	17.7	102
栃木 (10)	17.0	99	21.9	103	372	102	84.9	99	316	101	17.2	97
群馬 (11)	16.6	99	21.0	97	348	96	84.5	103	294	99	17.4	101
埼玉 (12)	15.8	97	23.6	102	373	99	76.7	99	286	97	17.8	104
千葉 (13)	15.7	98	24.4	101	383	99	78.6	98	301	97	18.4	103
東京 (14)	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc
神奈川 (15)	16.6	98	20.5	104	341	101	86.5	105	295	106	17.2	95
新潟 (16)	16.7	99	22.6	99	377	98	78.2	100	295	98	18.9	102
富山 (17)	19.7	104	19.8	102	391	106	75.7	98	296	104	19.2	97
石川 (18)	17.9	102	22.3	101	399	103	75.2	102	300	104	18.1	98
福井 (19)	17.4	99	23.3	102	406	101	72.2	99	293	100	18.0	99
山梨 (20)	17.0	101	21.2	91	360	92	81.1	105	292	97	18.4	101
長野 (21)	17.5	98	22.6	98	396	96	83.6	104	331	100	18.8	99
岐阜 (22)	15.4	97	22.5	100	347	97	79.0	106	274	103	18.2	98
静岡 (23)	17.2	98	21.0	100	362	98	80.9	105	293	102	18.0	97
愛知 (24)	17.0	101	22.3	101	379	102	76.3	100	289	101	17.9	99
三重 (25)	16.0	99	24.4	107	390	107	76.7	99	299	105	17.9	99
滋賀 (26)	16.5	100	22.4	99	369	99	81.8	102	302	101	17.6	99
京都 (27)	15.9	97	21.7	103	345	100	81.4	100	281	100	18.6	101
大阪 (28)	15.4	99	23.1	100	355	99	82.5	102	293	101	17.4	101
兵庫 (29)	15.6	98	21.9	103	341	101	81.5	103	278	104	18.8	98
奈良 (30)	15.2	97	23.3	103	354	99	84.2	102	298	101	17.8	101
和歌山 (31)	15.3	96	22.5	101	345	97	83.2	105	287	101	18.3	103
鳥取 (32)	15.9	98	22.9	104	364	102	76.6	100	279	102	18.9	99
島根 (33)	15.9	97	22.8	106	363	103	80.7	100	293	103	18.1	98
岡山 (34)	14.9	97	23.9	105	356	102	87.1	106	310	108	17.4	93
広島 (35)	15.0	96	25.0	109	375	105	76.3	96	286	101	19.0	99
山口 (36)	16.1	98	23.0	104	370	102	80.0	103	296	105	18.4	101
徳島 (37)	15.0	97	26.1	108	392	105	75.5	98	296	103	16.7	99
香川 (38)	15.6	99	23.7	101	370	100	78.1	101	289	101	18.2	102
愛媛 (39)	14.8	99	24.5	102	363	102	82.6	102	300	104	17.8	101
高知 (40)	14.2	98	25.4	103	360	101	74.2	102	267	103	17.6	97
福岡 (41)	16.2	99	22.5	98	364	97	79.1	101	288	98	17.4	101
佐賀 (42)	16.6	99	23.2	95	385	94	78.4	104	302	98	17.5	101
長崎 (43)	16.0	98	22.4	97	358	95	77.1	100	276	96	17.4	101
熊本 (44)	15.2	99	24.5	97	372	96	78.8	102	293	98	17.8	102
大分 (45)	14.7	96	23.9	101	351	97	84.9	104	298	101	17.1	99
宮崎 (46)	16.0	96	23.7	99	379	95	75.2	104	285	99	17.7	101
鹿児島 (47)	17.3	98	21.8	100	378	98	76.2	105	288	103	17.0	96
沖縄 (48)	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc

注：1　対平年比とは、過年次の作況標本筆結果から作成した各収量構成要素（1㎡当たり株数等）の平年値との対比である。
2　徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県については、作期別（早期栽培・普通栽培）の平均値である。
3　東京都及び沖縄県については、水稲作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。
4　千もみ当たり収量、玄米千粒重及び10ａ当たり玄米重は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。

粗玄米粒数歩合		玄米粒数歩合		玄米千粒重		10a当たり粗玄米重		玄米重歩合		10a当たり玄米重		
本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	本年	対平年比	
%	%	%	%	g	%	kg	%	%	%	kg	%	
87.1	99	95.5	100	21.8	101	564	101	97.5	100	550	101	(1)
81.0	100	95.8	100	22.2	102	622	106	97.9	100	609	106	(2)
84.9	101	95.5	100	22.2	100	621	99	97.7	100	607	99	(3)
91.6	101	94.3	98	22.2	102	563	100	97.2	99	547	99	(4)
85.3	96	96.9	100	22.3	103	563	100	98.0	100	552	100	(5)
88.3	99	93.8	98	22.2	101	589	98	96.6	99	569	97	(6)
90.8	99	95.8	100	22.2	102	621	100	97.9	100	608	100	(7)
89.2	100	96.2	100	22.0	100	574	100	97.7	100	561	100	(8)
88.0	100	96.0	100	20.9	102	558	102	97.8	100	546	102	(9)
90.2	100	93.3	98	20.4	99	563	99	96.4	99	543	98	(10)
84.7	98	94.0	101	21.8	102	528	100	96.8	101	511	101	(11)
89.9	101	94.6	101	21.0	102	527	101	96.8	100	510	101	(12)
87.4	100	97.0	101	21.8	103	564	99	98.4	101	555	100	(13)
…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	(14)
86.4	96	93.7	100	21.3	100	527	101	96.4	100	508	101	(15)
90.2	100	95.9	100	21.9	102	571	100	97.9	100	559	100	(16)
91.2	99	94.8	98	22.2	100	582	102	97.6	99	568	101	(17)
84.3	97	96.4	100	22.2	101	551	102	98.4	100	542	102	(18)
88.4	99	94.2	99	21.6	101	542	99	97.2	100	527	99	(19)
88.7	98	95.4	101	21.8	102	552	97	97.5	100	538	97	(20)
88.8	98	96.3	100	21.9	101	635	99	97.8	100	621	99	(21)
83.2	98	96.5	100	22.7	100	509	101	98.0	100	499	101	(22)
84.3	96	96.8	100	22.0	100	535	99	98.3	100	526	99	(23)
82.4	97	97.5	101	22.3	101	523	99	98.9	101	517	100	(24)
84.6	96	96.8	101	21.8	102	545	104	98.2	101	535	104	(25)
83.1	97	96.0	100	22.1	102	547	101	97.4	100	533	101	(26)
89.0	100	95.2	100	21.9	100	535	101	97.6	100	522	101	(27)
84.6	96	96.0	102	21.4	102	523	100	97.5	101	510	102	(28)
89.9	99	94.8	100	22.0	100	537	102	97.2	100	522	102	(29)
85.2	99	96.1	101	21.7	100	540	101	98.0	101	529	102	(30)
85.4	99	96.7	103	22.2	101	536	103	98.1	101	526	104	(31)
88.9	100	96.0	100	22.2	99	540	101	97.8	100	528	101	(32)
87.0	98	96.1	100	21.6	100	542	101	97.6	100	529	101	(33)
85.2	95	95.1	100	21.5	97	557	101	96.9	100	540	101	(34)
88.8	100	97.2	100	22.0	100	552	100	98.6	100	544	100	(35)
90.2	102	95.1	100	21.5	99	561	106	97.1	100	545	106	(36)
80.1	97	95.8	100	21.7	102	503	102	98.0	100	493	102	(37)
90.0	102	93.8	101	21.5	99	543	102	96.7	101	525	103	(38)
89.0	101	94.4	100	21.2	100	553	105	96.7	100	535	105	(39)
86.5	97	95.2	99	21.3	100	484	101	96.9	99	469	100	(40)
86.1	100	93.5	101	21.6	100	522	99	96.2	100	502	99	(41)
87.7	102	92.1	100	21.6	100	552	100	95.7	100	528	99	(42)
89.1	104	92.7	98	21.1	99	503	97	95.4	99	480	96	(43)
89.4	102	93.9	100	21.2	100	540	100	96.5	100	521	100	(44)
86.9	100	93.4	100	21.0	99	530	100	96.0	100	509	100	(45)
87.4	100	96.0	101	21.1	100	516	99	97.7	100	504	100	(46)
85.1	98	95.1	100	21.0	99	504	99	97.2	100	490	99	(47)
…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	…	nc	(48)

３　令和４年産水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況

全国・都道府県		ふるい目幅別重量分布状況						
		計	1.70㎜以上 1.75㎜未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00㎜ 以上
		%	%	%	%	%	%	%
全国	(1)	100.0	0.9	1.5	1.9	2.9	14.9	77.9
北海道	(2)	100.0	0.7	1.0	1.2	1.9	10.4	84.8
青森	(3)	100.0	0.6	1.0	1.3	1.7	10.3	85.1
岩手	(4)	100.0	0.8	1.2	1.4	2.0	12.4	82.2
宮城	(5)	100.0	0.5	1.1	1.3	2.0	14.2	80.9
秋田	(6)	100.0	0.9	1.4	1.6	2.8	14.8	78.5
山形	(7)	100.0	0.6	1.2	1.4	2.6	15.7	78.5
福島	(8)	100.0	0.5	1.3	1.7	3.0	14.2	79.3
茨城	(9)	100.0	1.0	1.4	1.9	3.8	19.0	72.9
栃木	(10)	100.0	1.3	2.0	3.2	4.5	27.0	62.0
群馬	(11)	100.0	1.3	1.8	2.9	3.8	20.3	69.9
埼玉	(12)	100.0	1.2	1.7	2.7	4.2	24.3	65.9
千葉	(13)	100.0	0.7	1.0	1.4	2.6	14.0	80.3
東京	(14)	100.0	0.8	1.3	2.4	3.6	22.3	69.6
神奈川	(15)	100.0	1.4	2.5	2.9	4.4	24.3	64.5
新潟	(16)	100.0	0.9	1.2	1.4	2.7	12.7	81.1
富山	(17)	100.0	0.8	1.2	1.6	2.4	13.2	80.8
石川	(18)	100.0	0.7	1.1	1.4	2.4	12.7	81.7
福井	(19)	100.0	0.9	1.3	1.5	2.9	14.9	78.5
山梨	(20)	100.0	1.0	1.6	1.7	3.0	14.6	78.1
長野	(21)	100.0	0.8	1.2	1.2	2.1	12.1	82.6
岐阜	(22)	100.0	0.9	1.2	1.5	2.7	10.0	83.7
静岡	(23)	100.0	0.6	1.0	1.3	2.3	11.1	83.7
愛知	(24)	100.0	0.8	1.2	1.4	2.1	7.3	87.2
三重	(25)	100.0	1.0	1.5	1.9	2.1	7.7	85.8
滋賀	(26)	100.0	0.9	1.4	1.9	2.7	11.1	82.0
京都	(27)	100.0	0.7	1.1	1.5	2.6	10.6	83.5
大阪	(28)	100.0	1.0	1.7	2.9	3.5	16.0	74.9
兵庫	(29)	100.0	1.0	1.9	2.1	3.4	15.5	76.1
奈良	(30)	100.0	0.7	1.2	1.9	2.8	12.0	81.4
和歌山	(31)	100.0	0.6	1.0	1.3	1.5	7.8	87.8
鳥取	(32)	100.0	0.8	1.5	1.6	2.4	11.6	82.1
島根	(33)	100.0	0.9	1.4	2.1	2.1	13.6	79.9
岡山	(34)	100.0	1.0	1.9	2.5	3.6	15.7	75.3
広島	(35)	100.0	0.7	1.3	1.6	2.1	11.5	82.8
山口	(36)	100.0	1.0	1.6	2.0	2.8	13.2	79.4
徳島	(37)	100.0	0.9	1.4	1.9	2.5	11.9	81.4
早期栽培	(38)	100.0	0.8	1.3	1.7	2.4	12.2	81.6
普通栽培	(39)	100.0	0.9	1.5	2.1	2.5	11.7	81.3
香川	(40)	100.0	1.4	2.1	3.3	4.3	22.1	66.8
愛媛	(41)	100.0	1.4	2.3	2.9	4.5	18.9	70.0
高知	(42)	100.0	1.1	1.7	1.9	2.8	11.7	80.8
早期栽培	(43)	100.0	1.0	1.5	1.7	2.5	11.0	82.3
普通栽培	(44)	100.0	1.2	1.9	2.3	3.2	12.8	78.6
福岡	(45)	100.0	1.3	2.8	3.1	4.1	19.4	69.3
佐賀	(46)	100.0	1.5	2.6	2.8	4.5	20.5	68.1
長崎	(47)	100.0	2.0	4.0	4.5	7.7	28.1	53.7
熊本	(48)	100.0	1.5	3.2	3.2	5.3	23.2	63.6
大分	(49)	100.0	1.7	3.0	3.9	5.8	24.9	60.7
宮崎	(50)	100.0	0.9	2.0	2.5	3.4	17.1	74.1
早期栽培	(51)	100.0	0.8	1.6	1.8	2.4	13.2	80.2
普通栽培	(52)	100.0	1.0	2.2	2.9	4.0	19.6	70.3
鹿児島	(53)	100.0	1.3	2.4	3.7	4.6	21.8	66.2
早期栽培	(54)	100.0	0.8	1.7	2.5	3.4	20.3	71.3
普通栽培	(55)	100.0	1.4	2.6	4.0	5.0	22.2	64.8
沖縄	(56)	100.0	1.4	2.1	2.9	3.6	15.3	74.7

注：対平均差に用いた平均値は、直近５か年の重量割合の平均値である。

対平均差												
1.70㎜以上 1.75㎜未満		1.75 ～1.80		1.80 ～1.85		1.85 ～1.90		1.90 ～2.00		2.00㎜ 以　上		
ﾎﾟｲﾝﾄ		ﾎﾟｲﾝﾄ		ﾎﾟｲﾝﾄ		ﾎﾟｲﾝﾄ		ﾎﾟｲﾝﾄ		ﾎﾟｲﾝﾄ		
	0.1		0.0	△	0.1		0.0	△	0.7		0.7	(1)
	0.1		0.1		0.0		0.0	△	0.1	△	0.1	(2)
	0.0		0.0	△	0.1	△	0.2	△	1.0		1.3	(3)
	0.2		0.1	△	0.1	△	0.1		0.5	△	0.6	(4)
△	0.2	△	0.2	△	0.3	△	0.6	△	1.5		2.8	(5)
	0.3		0.1	△	0.3		0.1		1.3	△	1.5	(6)
	0.0		0.1	△	0.1	△	0.4		0.0		0.4	(7)
	0.0	△	0.1	△	0.1		0.5		0.7	△	1.0	(8)
	0.1	△	0.1		0.2		0.6		0.7	△	1.5	(9)
	0.3		0.5		0.7		1.1		5.1	△	7.7	(10)
△	0.1	△	0.1	△	1.2	△	2.1	△	5.7		9.2	(11)
	0.0	△	0.1	△	0.2	△	0.2	△	1.2		1.7	(12)
△	0.2	△	0.3	△	0.5	△	0.3	△	3.1		4.4	(13)
△	0.3	△	0.5	△	0.3	△	0.2		2.6	△	1.3	(14)
	0.0		0.2		0.1	△	0.3		2.6	△	2.6	(15)
	0.2	△	0.1	△	0.4	△	0.1	△	3.0		3.4	(16)
	0.3		0.1		0.3	△	0.2	△	0.3	△	0.2	(17)
	0.1		0.1		0.1		0.2		0.8	△	1.3	(18)
	0.0	△	0.2	△	0.4		0.0	△	0.2		0.8	(19)
△	0.1	△	0.2	△	0.3	△	0.6	△	2.7		3.9	(20)
	0.1		0.0	△	0.2	△	0.1	△	0.4		0.6	(21)
	0.0	△	0.2	△	0.5		0.4	△	2.2		2.5	(22)
△	0.1	△	0.2	△	0.6	△	0.5	△	4.7		6.1	(23)
	0.1		0.0	△	0.4	△	0.6	△	4.8		5.7	(24)
	0.1		0.0	△	0.4	△	0.2	△	4.5		5.0	(25)
	0.0		0.0		0.1		0.3	△	2.3		1.9	(26)
	0.0	△	0.1	△	0.1		0.3	△	0.4		0.3	(27)
△	0.3	△	0.6	△	1.0	△	1.3	△	3.9		7.1	(28)
	0.1		0.2		0.2		0.5		0.1	△	1.1	(29)
△	0.2	△	0.8	△	0.5	△	0.6	△	3.9		6.0	(30)
△	0.4	△	0.7	△	0.8	△	1.1	△	6.0		9.0	(31)
	0.1		0.2		0.2		0.1		0.2	△	0.8	(32)
	0.2		0.1		0.2	△	0.1		1.2	△	1.6	(33)
	0.0		0.3	△	0.2		0.3	△	0.2	△	0.2	(34)
	0.0	△	0.1	△	0.1	△	0.1	△	1.2		1.5	(35)
	0.0	△	0.3	△	0.4	△	0.9	△	3.4		5.0	(36)
△	0.1	△	0.3	△	0.5	△	0.2	△	2.4		3.5	(37)
△	0.1	△	0.3	△	0.4		0.0	△	0.9		1.7	(38)
△	0.1	△	0.3	△	0.4	△	0.4	△	3.4		4.6	(39)
	0.1		0.0		0.3		0.5		1.0	△	1.9	(40)
	0.1		0.0		0.1		0.3	△	0.3	△	0.2	(41)
	0.0	△	0.1	△	0.4	△	0.2	△	3.1		3.8	(42)
	0.1		0.1		0.0		0.1	△	2.1		1.8	(43)
△	0.2	△	0.4	△	0.7	△	0.7	△	4.4		6.4	(44)
△	0.2	△	0.2	△	0.7	△	0.8	△	3.2		5.1	(45)
	0.1		0.4		0.0		0.6		1.1	△	2.2	(46)
	0.6		1.2		1.1		1.9		2.9	△	7.7	(47)
	0.2		0.8		0.3		0.8		1.5	△	3.6	(48)
△	0.2	△	0.6	△	0.7	△	1.3	△	3.2		6.0	(49)
△	0.1		0.2	△	0.5	△	0.8	△	4.6		5.8	(50)
	0.2		0.6		0.5		0.3	△	1.1	△	0.5	(51)
△	0.3	△	0.1	△	1.2	△	1.5	△	6.7		9.8	(52)
	0.2		0.4		0.6		0.5		0.6	△	2.3	(53)
	0.0		0.2		0.1		0.0	△	0.2	△	0.1	(54)
	0.3		0.5		0.7		0.7		0.8	△	3.0	(55)
	0.7		0.8		1.0		0.8		2.0	△	5.3	(56)

４　令和４年産水稲玄米のふるい目幅別10ａ当たり収量

単位：kg

全国・都道府県	1.70㎜以上	1.75㎜以上	1.80㎜以上	1.85㎜以上	1.90㎜以上	2.00㎜以上
全国	536	531	523	513	497	418
北海道	591	587	581	574	563	501
青森	594	590	584	577	567	505
岩手	537	533	526	519	508	441
宮城	537	534	528	521	511	434
秋田	554	549	541	532	517	435
山形	594	590	583	575	560	466
福島	549	546	539	530	513	435
茨城	532	527	519	509	489	388
栃木	532	525	514	497	473	330
群馬	502	495	486	472	453	351
埼玉	498	492	484	470	449	328
千葉	544	540	535	527	513	437
東京	421	418	412	402	387	293
神奈川	501	494	481	467	445	323
新潟	544	539	533	525	510	441
富山	556	552	545	536	523	449
石川	532	528	522	515	502	435
福井	515	510	504	496	481	404
山梨	532	527	518	509	493	415
長野	608	603	596	589	576	502
岐阜	487	483	477	469	456	408
静岡	509	506	501	494	483	426
愛知	505	501	495	488	477	440
三重	511	506	498	489	478	438
滋賀	523	518	511	501	487	429
京都	514	510	505	497	484	429
大阪	503	498	489	475	457	377
兵庫	513	508	498	487	470	390
奈良	522	518	512	502	488	425
和歌山	519	516	511	504	496	456
鳥取	514	510	502	494	482	422
島根	519	514	507	496	485	415
岡山	524	519	509	496	477	395
広島	530	526	519	511	500	439
山口	526	521	512	502	487	418
徳島	480	476	469	460	448	391
早期栽培	473	469	463	455	444	386
普通栽培	485	481	473	463	451	394
香川	511	504	493	476	454	341
愛媛	524	517	505	489	466	367
高知	460	455	447	438	426	372
早期栽培	488	483	476	468	455	402
普通栽培	425	420	412	402	388	334
福岡	491	485	471	456	436	340
佐賀	514	506	493	479	455	350
長崎	470	461	442	421	384	252
熊本	501	493	477	461	435	319
大分	493	485	470	451	422	299
宮崎	488	484	474	462	445	362
早期栽培	502	498	490	481	469	403
普通栽培	480	475	465	451	432	337
鹿児島	478	472	460	443	421	316
早期栽培	465	461	453	442	426	332
普通栽培	482	475	463	443	419	312
沖縄	313	309	302	293	282	234

注：　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、都道府県の10ａ当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

５　令和４年産水稲玄米のふるい目幅別収穫量（子実用）

単位：ｔ

全国・都道府県	1.70㎜以上	1.75㎜以上	1.80㎜以上	1.85㎜以上	1.90㎜以上	2.00㎜以上
全国	7,269,000	7,204,000	7,095,000	6,956,000	6,746,000	5,663,000
北海道	553,200	549,300	543,800	537,200	526,600	469,100
青森	235,200	233,800	231,400	228,400	224,400	200,200
岩手	247,600	245,600	242,600	239,200	234,200	203,500
宮城	326,500	324,900	321,300	317,000	310,500	264,100
秋田	456,500	452,400	446,000	438,700	425,900	358,400
山形	365,300	363,100	358,700	353,600	344,100	286,800
福島	317,300	315,700	311,600	306,200	296,700	251,600
茨城	319,200	316,000	311,500	305,500	293,300	232,700
栃木	270,300	266,800	261,400	252,700	240,600	167,600
群馬	72,300	71,400	70,100	68,000	65,200	50,500
埼玉	142,400	140,700	138,300	134,400	128,400	93,800
千葉	259,500	257,700	255,100	251,500	244,700	208,400
東京	484	480	474	462	445	337
神奈川	14,400	14,200	13,800	13,400	12,800	9,290
新潟	631,000	625,300	617,700	608,900	591,900	511,700
富山	197,400	195,800	193,500	190,300	185,600	159,500
石川	122,900	122,000	120,700	119,000	116,000	100,400
福井	121,000	119,900	118,300	116,500	113,000	95,000
山梨	25,500	25,200	24,800	24,400	23,600	19,900
長野	187,300	185,800	183,600	181,300	177,400	154,700
岐阜	100,800	99,900	98,700	97,200	94,500	84,400
静岡	76,400	75,900	75,200	74,200	72,400	63,900
愛知	130,800	129,800	128,200	126,400	123,600	114,100
三重	130,800	129,500	127,500	125,000	122,300	112,200
滋賀	151,700	150,300	148,200	145,300	141,200	124,400
京都	72,000	71,500	70,700	69,600	67,800	60,100
大阪	22,800	22,600	22,200	21,500	20,700	17,100
兵庫	177,000	175,200	171,900	168,200	162,100	134,700
奈良	43,900	43,600	43,100	42,200	41,000	35,700
和歌山	31,000	30,800	30,500	30,100	29,600	27,200
鳥取	62,200	61,700	60,800	59,800	58,300	51,100
島根	85,100	84,300	83,100	81,400	79,600	68,000
岡山	147,200	145,700	142,900	139,300	134,000	110,800
広島	114,500	113,700	112,200	110,400	108,000	94,800
山口	92,600	91,700	90,200	88,300	85,700	73,500
徳島	47,600	47,200	46,500	45,600	44,400	38,700
早期栽培	17,900	17,800	17,500	17,200	16,800	14,600
普通栽培	29,700	29,400	29,000	28,400	27,600	24,100
香川	55,700	54,900	53,800	51,900	49,500	37,200
愛媛	68,600	67,600	66,100	64,100	61,000	48,000
高知	49,700	49,200	48,300	47,400	46,000	40,200
早期栽培	29,300	29,000	28,600	28,100	27,300	24,100
普通栽培	20,200	20,000	19,600	19,100	18,500	15,900
福岡	164,000	161,900	157,300	152,200	145,500	113,700
佐賀	117,200	115,400	112,400	109,100	103,800	79,800
長崎	48,900	47,900	46,000	43,800	40,000	26,300
熊本	156,800	154,400	149,400	144,400	136,100	99,700
大分	93,200	91,600	88,800	85,200	79,800	56,600
宮崎	75,200	74,500	73,000	71,100	68,600	55,700
早期栽培	28,800	28,600	28,100	27,600	26,900	23,100
普通栽培	46,200	45,700	44,700	43,400	41,500	32,500
鹿児島	86,000	84,900	82,800	79,600	75,700	56,900
早期栽培	19,800	19,600	19,300	18,800	18,100	14,100
普通栽培	66,500	65,600	63,800	61,200	57,900	43,100
沖縄	2,000	1,970	1,930	1,870	1,800	1,490

注：　ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、都道府県別の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

６　令和４年産水稲における農家等が使用したふるい目幅の分布

【令和４年産水稲作況標本（基準）筆農家からの聞取り結果】

単位：％

全国・都道府県	計	1.70㎜以上1.75㎜未満	1.75～1.80	1.80～1.85	1.85～1.90	1.90～2.00	2.00㎜以上
全国	100.0	0.1	2.0	24.0	38.3	35.0	0.6
北海道	100.0	0.3	－	1.1	19.7	76.3	2.6
青森	100.0	－	－	－	0.3	99.7	－
岩手	100.0	－	－	－	5.1	94.9	－
宮城	100.0	－	－	－	3.2	96.8	－
秋田	100.0	－	－	1.2	17.9	80.6	0.3
山形	100.0	－	－	0.3	15.4	84.0	0.3
福島	100.0	－	－	0.3	61.4	38.3	－
茨城	100.0	－	0.8	12.3	85.7	1.2	－
栃木	100.0	－	1.0	4.5	94.2	0.3	－
群馬	100.0	1.5	5.3	85.6	6.1	1.5	－
埼玉	100.0	1.2	23.8	70.3	4.1	－	0.6
千葉	100.0	－	1.8	86.0	11.1	0.7	0.4
東京	100.0	－	－	100.0	－	－	－
神奈川	100.0	－	11.8	88.2	－	－	－
新潟	100.0	－	0.2	3.1	59.6	36.1	1.0
富山	100.0	－	－	－	9.2	90.8	－
石川	100.0	－	－	0.5	43.7	55.8	－
福井	100.0	－	－	－	3.0	97.0	－
山梨	100.0	－	－	24.2	75.8	－	－
長野	100.0	－	－	15.6	76.0	7.6	0.8
岐阜	100.0	0.6	0.6	44.6	49.1	3.4	1.7
静岡	100.0	0.6	6.0	50.6	42.2	0.6	－
愛知	100.0	－	0.9	19.3	58.1	21.7	－
三重	100.0	－	－	17.4	77.9	4.7	－
滋賀	100.0	－	1.5	9.3	33.8	55.4	－
京都	100.0	－	－	26.0	53.9	19.5	0.6
大阪	100.0	－	24.6	70.5	4.9	－	－
兵庫	100.0	0.4	5.6	37.8	45.0	3.0	8.2
奈良	100.0	1.0	1.9	89.5	7.6	－	－
和歌山	100.0	－	39.4	58.5	2.1	－	－
鳥取	100.0	－	－	6.2	89.9	3.9	－
島根	100.0	－	－	1.0	7.7	90.8	0.5
岡山	100.0	－	0.4	24.9	73.0	0.4	1.3
広島	100.0	－	0.5	19.6	78.4	1.5	－
山口	100.0	0.5	－	1.1	79.2	19.2	－
徳島	100.0	－	10.5	72.4	16.4	0.7	－
香川	100.0	－	5.3	82.8	11.9	－	－
愛媛	100.0	－	1.3	47.4	50.0	1.3	－
高知	100.0	－	－	89.2	9.8	1.0	－
福岡	100.0	－	－	11.4	87.1	1.5	－
佐賀	100.0	－	－	－	57.9	42.1	－
長崎	100.0	1.3	7.5	58.6	23.8	8.8	－
熊本	100.0	0.4	－	35.6	64.0	－	－
大分	100.0	－	0.5	46.6	52.9	－	－
宮崎	100.0	－	0.5	99.5	－	－	－
鹿児島	100.0	－	0.8	94.3	4.9	－	－
沖縄	100.0	－	25.0	75.0	－	－	－

注：　農家等が使用したふるい目幅の分布とは、水稲作況標本（基準）筆農家が使用したふるい目幅別の農家数割合を示したものである。

7　令和４年産水稲の作況標本筆の10ａ当たり玄米重の分布状況

単位:%

全国・都道府県	計	100kg未満	100～200	200～300	300～400	400～500	500～600	600～700	700～800	800kg以上
全国	100.0	0.1	0.3	1.3	5.2	22.7	45.4	21.8	3.1	0.1
北海道	100.0	0.2	－	0.2	1.5	9.8	38.5	41.8	8.0	－
青森	100.0	－	－	1.8	3.0	7.0	29.8	46.6	11.2	0.6
岩手	100.0	－	0.9	0.3	5.0	22.6	44.5	23.5	3.2	－
宮城	100.0	－	－	0.9	3.6	13.9	59.8	21.2	0.6	－
秋田	100.0	－	0.3	0.6	1.9	12.2	51.0	33.1	0.9	－
山形	100.0	－	－	0.6	1.3	9.4	32.5	42.1	13.8	0.3
福島	100.0	－	－	0.7	2.0	19.1	49.5	22.9	5.8	－
茨城	100.0	－	－	0.4	1.8	21.1	60.6	15.0	1.1	－
栃木	100.0	－	－	－	3.9	19.4	57.4	18.6	0.7	－
群馬	100.0	－	－	1.4	6.4	34.3	46.5	10.7	0.7	－
埼玉	100.0	－	1.1	1.7	5.0	36.1	42.7	11.7	1.7	－
千葉	100.0	－	－	0.4	2.3	18.1	47.6	30.8	0.8	－
東京	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
神奈川	100.0	－	－	－	6.7	31.7	51.6	10.0	－	－
新潟	100.0	0.2	0.2	0.5	2.0	19.3	51.4	23.9	2.5	－
富山	100.0	－	0.5	0.5	4.1	8.2	52.2	34.5	－	－
石川	100.0	－	－	2.3	3.7	22.4	48.3	21.9	1.4	－
福井	100.0	－	－	0.4	7.4	24.8	53.9	13.5	－	－
山梨	100.0	－	－	－	11.3	22.5	41.1	16.3	8.8	－
長野	100.0	－	0.4	－	4.0	8.4	25.2	38.6	20.1	3.3
岐阜	100.0	－	－	0.5	10.8	40.0	38.4	9.2	1.1	－
静岡	100.0	－	0.6	2.5	5.6	23.1	53.2	15.0	－	－
愛知	100.0	－	1.0	1.0	2.9	30.5	56.0	8.6	－	－
三重	100.0	－	－	0.9	7.4	26.6	47.6	17.5	－	－
滋賀	100.0	0.5	0.5	1.4	7.6	20.0	42.8	22.9	4.3	－
京都	100.0	－	0.7	1.4	7.1	28.6	43.6	18.6	－	－
大阪	100.0	－	－	－	2.0	26.0	72.0	－	－	－
兵庫	100.0	－	－	3.0	8.3	26.5	40.5	19.1	2.6	－
奈良	100.0	－	－	1.0	6.0	31.0	40.0	20.0	2.0	－
和歌山	100.0	－	1.0	2.0	6.0	19.0	53.0	18.0	1.0	－
鳥取	100.0	－	－	3.3	8.7	25.3	41.4	20.0	1.3	－
島根	100.0	0.5	0.5	3.1	6.2	22.1	41.9	22.6	3.1	－
岡山	100.0	－	0.4	1.3	6.7	22.9	48.3	17.9	2.1	0.4
広島	100.0	0.5	0.5	1.8	6.4	20.9	39.5	25.9	4.5	－
山口	100.0	0.6	1.1	1.1	3.9	18.3	50.5	22.8	1.7	－
徳島	100.0	－	0.7	3.3	11.3	38.7	35.3	10.0	0.7	－
香川	100.0	0.7	－	2.0	6.7	25.3	49.3	13.3	2.0	0.7
愛媛	100.0	－	－	2.0	4.0	29.3	45.4	16.0	3.3	－
高知	100.0	－	0.6	5.6	16.3	39.3	31.3	6.9	－	－
福岡	100.0	－	0.4	1.9	5.8	36.9	47.7	7.3	－	－
佐賀	100.0	－	1.0	2.4	3.8	27.6	45.6	18.6	1.0	－
長崎	100.0	－	0.7	1.3	16.1	37.6	38.9	5.4	－	－
熊本	100.0	2.2	－	2.2	5.8	30.6	45.6	12.9	0.7	－
大分	100.0	－	0.5	2.7	6.0	33.9	46.5	10.4	－	－
宮崎	100.0	－	0.5	2.4	8.1	34.4	45.0	9.1	0.5	－
鹿児島	100.0	－	0.5	2.0	11.6	42.2	35.2	8.5	－	－
沖縄	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…

注：１　10ａ当たり玄米重は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
　　２　東京都及び沖縄県については、水稲作況標本筆を設置していないことから「…」で示した。

8　令和４年産水稲の作柄表示地帯別作況指数

都道府県（作況指数）	作柄表示地帯	作況指数	都道府県（作況指数）	作柄表示地帯	作況指数
北海道	石狩	107	埼玉	東部	101
(106)	南空知	105	(101)	西部	101
	北空知	106			
	上川	107	千葉	京葉	99
	留萌	108	(100)	九十九里	100
	渡島・檜山	103		南房総	102
	後志	104			
	胆振・日高	105	東京	－	102
	オホーツク・十勝	104	(102)		
青森	青森	101	神奈川	－	101
(99)	津軽	97	(101)		
	南部・下北	101			
			新潟	下越	98
岩手	北上川上流	99	(99)	中越	100
(99)	北上川下流	99		上越	102
	東部	99		佐渡	101
	北部	99			
			富山	－	101
宮城	南部	101	(101)		
(100)	中部	100			
	北部	99	石川	加賀	101
	東部	100	(101)	能登	101
秋田	県北	94	福井	嶺北	99
(95)	県中央	94	(99)	嶺南	100
	県南	97			
			山梨	－	97
山形	村山	100	(97)		
(99)	最上	98			
	置賜	97	長野	東信	97
	庄内	99	(98)	南信	98
				中信	99
福島	中通り	100		北信	98
(100)	浜通り	100			
	会津	99	岐阜	西南濃	102
			(100)	中濃	101
茨城	北部・鹿行	101		東濃	96
(101)	南部・西部	101		飛騨	97
栃木	北部	96	静岡	－	98
(97)	中部	96	(98)		
	南部	100			
			愛知	尾張	99
群馬	中毛	100	(100)	西三河	100
(101)	北毛	101		東三河	100
	東毛	101			

注：　作況指数は、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり収量の比率であり、都道府県ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。北海道、茨城県、新潟県、静岡県については、令和４年産より作柄表示地帯を再編した。

都道府県（作況指数）	作柄表示地帯	作況指数	都道府県（作況指数）	作柄表示地帯	作況指数
三重	北勢	102	高知	中東部	100
(102)	中勢	103	(100)	西部	100
	南勢	102			
	伊賀	102	福岡	福岡	100
			(100)	北東部	102
滋賀	湖南	101		筑後	98
(101)	湖北	101			
			佐賀	佐賀	98
京都	南部	101	(98)	松浦	100
(101)	北部	101			
			長崎	南部	95
大阪	－	102	(95)	北部	97
(102)				五島	93
				壱岐・対馬	90
兵庫	県南	103			
(102)	県北	101	熊本	県北	96
	淡路	101	(96)	阿蘇	96
				県南	97
奈良	－	102		天草	100
(102)					
			大分	北部	96
和歌山	－	105	(99)	湾岸	98
(105)				南部	102
				日田	100
鳥取	東部	101			
(100)	西部	99	宮崎	広域沿海	101
			(98)	広域霧島	95
島根	出雲	100		西北山間	93
(101)	石見	102			
			鹿児島	薩摩半島	98
岡山	南部	98	(98)	出水薩摩	98
(99)	中北部	101		伊佐姶良	96
				大隅半島	101
広島	南部	101		熊毛・大島	96
(101)	北部	100			
			沖縄	沖縄諸島	109
山口	東部	105	(101)	八重山	97
(105)	西部	104			
	長北	105			
徳島	北部	102			
(102)	南部	102			
香川	－	103			
(103)					
愛媛	東予	104			
(104)	中予	104			
	南予	107			

注： 徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は、早期栽培（第一期稲）と普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

９　令和４年産水稲の被害面積及び被害量（全国）

被害種類	被害面積	被害量	被害率	
			実数	対前年差
	ha	t	%	ﾎﾟｲﾝﾄ
冷害	39,300	7,800	0.1	0.0
日照不足	982,100	227,500	3.1	0.2
高温障害	323,900	43,100	0.6	0.1
いもち病	253,100	62,900	0.9	△ 0.2
ウンカ	40,300	5,730	0.1	0.0
カメムシ	114,300	13,000	0.2	0.0

10　令和４年産陸稲の作付面積及び収穫量

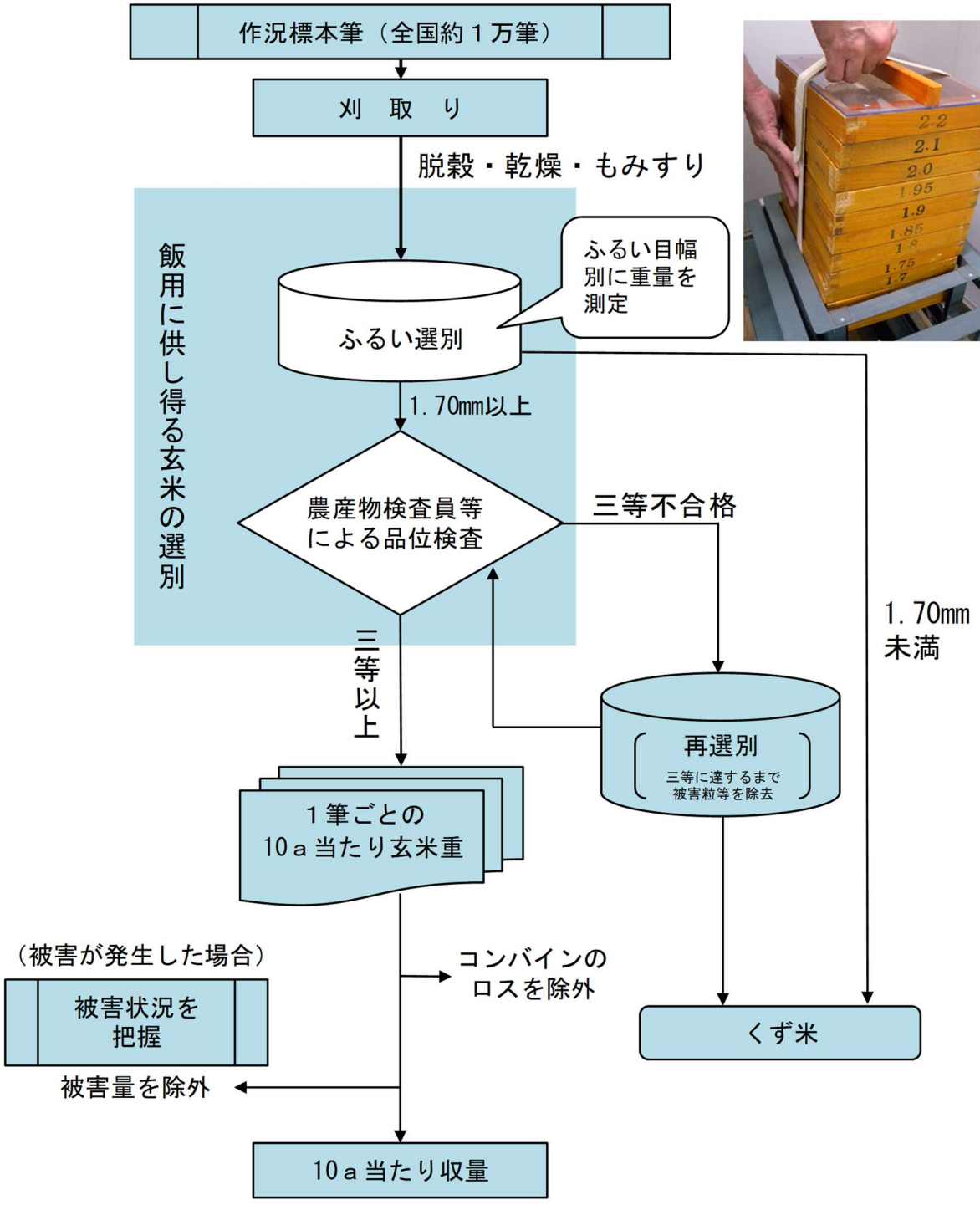
全国・都道府県	作付面積（子実用）	10ａ当たり収量	収穫量（子実用）	（参考）10ａ当たり平均収量対比
	ha	kg	t	%
全国	468	216	1,010	93
うち茨城	339	229	776	95
栃木	111	184	204	84

注：１　令和４年産調査については、作付面積調査及び収穫量調査ともに主産県を対象に調査を実施した。
２　主産県とは、直近の全国調査年である令和２年産調査における全国の作付面積のおおむね80%を占めるまでの上位都道府県である。
３　全国の収穫量については、主産県の調査結果から推計したものである。
４　「（参考）10ａ当たり平均収量対比」とは、10ａ当たり平均収量（原則として直近７か年のうち、最高及び最低を除いた５か年の平均値）に対する当年産の10ａ当たり収量の比率である。

【参考１】

収穫量調査の流れ

収穫量調査は、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的として、作況標本筆（【参考２】参照）ごとに一定面積の稲を刈取り、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70㎜以上で選別を行い、その重さを計測している（下図参照）。

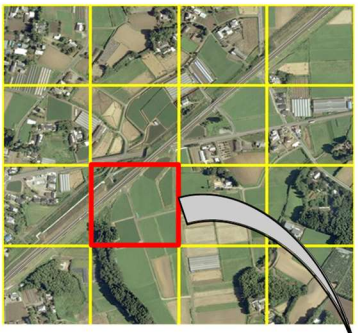


【参考２】

作況標本筆（ふで）とは

収穫量の実測調査の対象とした作況標本筆（１枚のほ場を筆（ふで）と呼ぶ。）は、各都道府県の水稲の状況が把握できるように、標本理論に基づいて次のように各地で選定し（全国で約１万筆）調査している。

全国の全ての土地
（母集団）

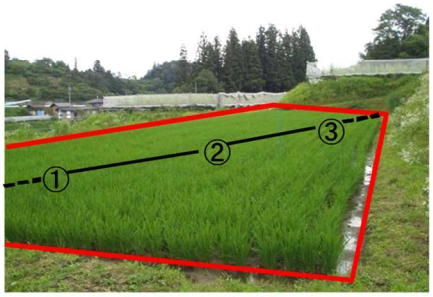


１　全国の全ての土地を200m四方（北海道は、400m四方）に区切って編成した単位区のうち、水田が含まれる単位区を調査母集団とし、その中から、無作為抽出法（人間の恣意を排したくじ引きのような選び方）により「標本単位区」を選んでいる。

標本単位区
（200m四方の土地）

２　標本単位区の中から無作為に１枚の水田ほ場を選び、「作況標本筆」としている。

作況標本筆
（全国で約１万筆）



３　各作況標本筆の対角線上の３か所（①、②、③）を実測調査箇所として、調査箇所ごとに１㎡（合計３㎡）分のサンプル採取（坪刈り）を行っている。

【調査の概要】

1　調査の目的

本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び収穫量調査として実施したものであり、水陸稲の作付面積、作柄状況・収穫量等を明らかにすることにより、米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針の策定、食料・農業・農村基本計画における生産努力目標の策定及び達成状況検証、経営所得安定対策の交付金算定、農作物共済事業の適切な運営等のための農政の基礎資料を整備することを目的としている。

2　調査の対象

(1)　調査の範囲

ア　作付面積調査

(ｱ)　水　稲

全国の各都道府県を対象に実施している。

(ｲ)　陸　稲

令和４年産については、主産県を対象に実施した。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査（直近は令和２年産）を３年ごとに実施しており、全国調査以外の年にあっては、直近の全国調査年における全国の作付面積のおおむね80％を占めるまでの上位都道府県（主産県）を調査の範囲としている。

イ　収穫量調査

(ｱ)　水　稲

全国の各都道府県を対象に実施している。

(ｲ)　陸　稲

令和４年産については、主産県を対象に実施した。

なお、全ての都道府県を調査対象とする全国調査（直近は平成29年産）を６年ごとに実施しており、全国調査以外の年にあっては、直近の全国調査年における全国の作付面積のおおむね80％を占めるまでの上位都道府県（主産県）を調査の範囲としている。

(2)　調査対象の選定

ア　作付面積調査

(ｱ)　水　稲

水稲の栽培に供された全ての耕地

(ｲ)　陸　稲

陸稲を取り扱っている全ての農協等の関係団体

イ　収穫量調査

(ｱ)　水　稲

水稲が栽培されている耕地

(ｲ)　陸　稲

a　関係団体調査（全数調査）

陸稲を取り扱っている全ての農協等の関係団体

b　標本経営体調査（標本調査）

都道府県ごとの収穫量に占める関係団体の取扱数量の割合が８割に満たない都道府県については、2020 年農林業センサスにおいて、陸稲を販売目的で作付けし、関係団体以外に出荷した農林業経営体から品目別作付面積

の規模に比例した確率比例抽出法により抽出をした。

なお、標本の大きさ（標本経営体数）については、10a 当たり収量を指標とした全国の目標精度（２～３％）が確保されるよう、調査対象作物の全国収穫量に占める都道府県ごとのシェアを考慮して目標精度（３～５％）を設定し、必要な標本経営体数を算出した。

(3)　調査対象数

ア　作付面積調査

(ｱ)　水　稲

標本単位区：39,411単位区

(ｲ)　陸　稲

区　分	関係団体調査		
	団体数 ①	有効回答数 ②	有効回答率 ③＝②／①
陸　稲	団体 8	団体 8	% 100.0

注：「有効回答数」とは、集計に用いた関係団体の数である。

イ　収穫量調査

(ｱ)　水　稲

作況標本筆：9,902筆、作況基準筆：314筆

(ｲ)　陸　稲

区　分	関係団体調査			標本経営体調査				
	団体数 ①	有　効 回答数 ②	有　効 回答率 ③＝②／①	母集団 の大きさ ④	調査対象 経営体数 ⑤	抽出率 ⑥＝⑤／④	有　効 回答数 ⑦	有　効 回答率 ⑧＝⑦／⑤
	団体	団体	%	経営体	経営体	%	経営体	%
陸　稲	8	7	87.5	886	265	29.9	53	20.0

注：　「有効回答数」とは、集計に用いた関係団体及び標本経営体の数であり、回答はあったが、当年産において作付けがなかった関係団体及び標本経営体は含まれない。

３　調査事項

(1)　作付面積調査

水陸稲：作付面積

(2)　収穫量調査

ア　水　稲：10ａ当たり収量、収穫量、穂数・もみ数等の生育状況、登熟状況、被害状況、被害種類別被害面積・被害量、耕種状況等

イ　陸　稲

(ｱ)　関係団体調査：作付面積及び集荷量

(ｲ)　標本経営体調査：作付面積、出荷量及び「自家用、無償の贈与、種子用等の量」

４　調査期日

(1)　作付面積調査

ア　水　稲：令和４年７月15日現在

イ　陸　稲：収穫期

(2)　収穫量調査

水陸稲：収穫期

５　調査・集計方法

(1)　作付面積調査

ア　水　稲

(ｱ)　母集団の編成

空中写真（衛星画像等）に基づき、全国の全ての土地を隙間なく区分した200m四方（北海道にあっては、400m四方）の格子状の区画のうち、耕地が存在する区画を調査のための「単位区」とし、この単位区の集まりを母集団としている。

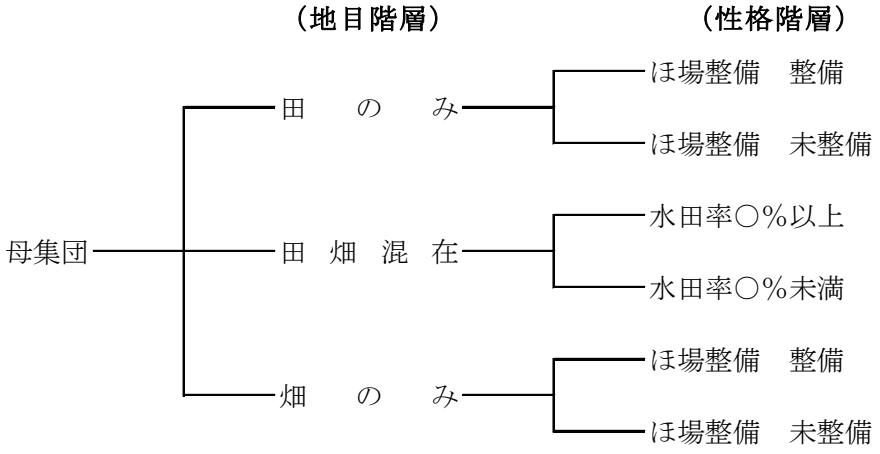
なお、単位区については、区画内に存する耕地について筆ポリゴン（衛星画像等を基に面積調査用の地理情報システムにより筆（けい畔等で区切られた現況一枚のほ場）ごとの形状に沿って作成した面をいう。）を作成し、地目（田又は畑）等の情報を登録している（後述の台帳面積に相当）。

母集団は、ほ場整備、宅地への転用等により生じた現況の変化を反映するため、単位区の情報を補正することにより整備している。

(ｲ)　階層分け

調査精度の向上を図るため、母集団を各単位区内の耕地の地目に基づいて地目階層（「田のみ階層」、「田畑混在階層」及び「畑のみ階層」）に分類し、そのそれぞれの地目階層について、ほ場整備の状況、水田率等の指標に基づいて設定した性格の類似した階層（性格階層）に分類している。

階層分け模式図（例）



(ｳ)　調査対象数の算出

都道府県別の調査対象数は、耕地の田畑別面積又は水稲作付面積を指標とした全国の目標精度（田：0.16％、畑：0.50％、水稲：0.22％）が確保されるように設定した都道府県別の目標精度（田：おおむね0.5～２％程度、畑：おおむね１～５％程度、水稲：おおむね0.5～３％程度）に基づき算出する。

(ｴ)　調査対象数の配分及び抽出

(ｳ)により算出した調査対象数を、都道府県別の地目階層別に、総単位区数に耕地の田畑別面積又は水稲作付面積の母標準偏差を乗じた結果に比例して配分し、次いで、地目階層別の調査対象数を、性格階層別に当該性格階層の総単位区数に比例して配分の上、系統抽出法により抽出する。

(ｵ)　実査（対地標本実測調査）

抽出した標本単位区内の水稲が作付けされている全ての筆について、職員

又は統計調査員により１筆ごとに現況地目、耕地の境界及び作付けの状況を確認する。

(ｶ)　推定

水稲作付面積の推定においては、都道府県別に面積調査用の地理情報システムを使用して求積した「標本単位区の田台帳面積の合計」に対する「実査により得られた標本単位区の現況の水稲作付見積り面積の合計」の比率を「母集団（全単位区）の田の台帳面積の合計」に乗じ、これに台帳補正率（田台帳面積に対する実面積の比率）を乗じることにより、全体の面積を推定し、職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

$$\text{推定面積}=\frac{\text{標本単位区の現況水稲作付見積り面積合計}}{\text{標本単位区の田台帳面積合計}}\times\text{全単位区の田台帳面積合計}\times\text{台帳補正率}$$

なお、全国計及び全国農業地域別の値は、都道府県別の値を合計して算出した。

(ｷ)　その他

遠隔地、離島、市街地等の対地標本実測調査が非効率な地域については、職員による巡回・見積り、情報収集によって把握している。

イ　陸　稲

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査により行った。集計は、関係団体調査結果を基に職員又は統計調査員による巡回・見積り及び職員による情報収集により補完している。

なお、令和４年産は主産県調査年であることから、全国調査を行った令和２年産の調査結果に基づき、次により全国値を推計した。

全国値＝主産県の作付面積の合計値＋非主産県の作付面積の合計値（x）

x:令和２年産における非主産県の作付面積の合計値×作付面積の変動率(y)

y:令和４年産における主産県の作付面積の合計値÷令和２年産における主産県の作付面積の合計値

(2)　収穫量調査

ア　水　稲

(ｱ)　母集団

(1)のアの(ｲ)により、「田のみ階層」及び「田畑混在階層」の地目階層に分類される単位区を母集団としている。

(ｲ)　階層分け

都道府県別に地域行政上必要な水稲の作柄を表示する区域として、水稲の生産力（地形、気象、栽培品種等）により分割した区域を「作柄表示地帯」として設定し、この作柄表示地帯ごとに収量の高低、年次変動、収量に影響する条件等を指標とした階層分けを行っている。

(ｳ)　調査対象数の算出

都道府県別の調査対象数は、全国の目標精度（0.3%）が確保されるように設定した都道府県別の目標精度（１～２%）に基づき算出する。

(ｴ)　調査対象数の配分及び抽出

都道府県別の調査対象数を階層別に水稲の作付面積に10ａ当たり収量の標準偏差を乗じた結果に比例して配分する。

階層別に配分された調査対象数を単位区の水稲作付面積(田台帳面積)に

比例した確率で抽出する確率比例抽出法により標本単位区を抽出する。抽出された標本単位区内で、水稲が作付けされている筆から１筆を無作為に選定し、作況標本筆（実測調査を行う筆）とする。

(ｵ)　作況標本筆の実測

作況標本筆の対角線上の３か所を系統抽出法により調査箇所に選定し、株数、穂数、もみ数等の実測調査を行う。

(ｶ)　10ａ当たり玄米重の算定

各作況標本筆について、一定株数（１㎡分×３か所の株数）の稲を刈り取り、脱穀・乾燥・もみすりを行った後に、飯用に供し得る玄米（農産物規格規程（平成13年２月28日農林水産省告示第244号）に定める三等以上の品位を有し、かつ、粒厚が1.70㎜以上であるもの）となるように選別し、各作況標本筆の10ａ当たり玄米重を決定する。

各作況標本筆の10ａ当たり玄米重の平均を基に階層ごとの10ａ当たり玄米重を推定し、水稲作付面積で加重平均することにより都道府県別の10ａ当たり玄米重平均値を算出する。

(ｷ)　10ａ当たり収量の推定

(ｶ)により算出した都道府県別の10ａ当たり玄米重平均値に、コンバインのロス率（コンバインを使用して収穫する際に発生する収穫ロス）や被害データ等を加味して検討を行い、都道府県別の10ａ当たり収量を推定する。

さらに、作況基準筆（10ａ当たり収量を巡回・見積りにより把握する際の基準とするものとして有意に選定した筆をいう。）の実測結果を基準とした巡回・見積り並びに情報収集による作柄及び被害の見積りによって推定値を補完する。

(ｸ)　収穫量及び被害量

(ｷ)により推定した10ａ当たり収量に作付面積を乗じて収穫量を求める。

被害量は、農作物に被害が発生した後、生育段階に合わせて被害の状況を巡回･見積りで把握する。

イ　陸　稲

関係団体に対する往復郵送調査又はオンライン調査及び標本経営体に対する往復郵送調査によって行った。

なお、収穫量の集計は、関係団体調査及び標本経営体調査結果から得られた作付面積及び収穫量を基に算出した10ａ当たり収量に作付面積を乗じて算出し、必要に応じて職員又は統計調査員による巡回及び職員による情報収集により補完している。

また､令和４年産調査は主産県調査年に当たることから､全国値については、全国調査を行った平成29年産の全国の収穫量に、令和４年産における主産県の収穫量の合計値を平成29年産における主産県の収穫量の合計値で除した変動率を乗じて算出した。

６　実績精度

作付面積調査の対地標本実測調査における水稲作付面積、水稲収穫量調査の標本実測調査における10ａ当たり玄米重及び陸稲収穫量調査における10ａ当たり収量に係る調査結果（全国）の実績精度を標準誤差率（標準誤差の推定値÷推定値×100）により示すと、次のとおりである。

なお、陸稲の作付面積については、関係団体に対する全数調査結果を用いて算出しているため、実績精度の算定を行っていない。

区分	水稲		陸稲
	作付面積	10ａ当たり玄米重	10ａ当たり収量
標準誤差率（%）	0.35	0.16	4.7

7　全国農業地域の表章区分

全国農業地域名	所　属　都　道　府　県　名
北海道	北海道
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
北陸	新潟、富山、石川、福井
関東・東山	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、長野
東海	岐阜、静岡、愛知、三重
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口
四国	徳島、香川、愛媛、高知
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島
沖縄	沖縄

8　用語の解説

(1)　「青刈り」とは、子実の生産以前に刈り取られて飼肥料用などとして用いられるもの（ＷＣＳ用稲、わら専用稲等を含む。）のほか、飼料用米等を指す。

(2)　「作況指数」とは、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり収量の比率である。

なお、平成26年産以前の作況指数は1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米を基に算出し、平成27年産から令和元年産までの作況指数は、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅以上に選別された玄米を基に算出していた。令和２年産以降の作況指数は、都道府県ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も多い使用割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

令和４年産の作況指数の算出に用いるふるい目幅							
都道府県	農家等使用目幅	都道府県	農家等使用目幅	都道府県	農家等使用目幅	都道府県	農家等使用目幅
北海道	1.90㎜	東　京	1.80㎜	滋　賀	1.90㎜	香　川	1.80㎜
青　森	1.90㎜	神奈川	1.80㎜	京　都	1.85㎜	愛　媛	1.85㎜
岩　手	1.90㎜	新　潟	1.85㎜	大　阪	1.80㎜	高　知	1.80㎜
宮　城	1.90㎜	富　山	1.90㎜	兵　庫	1.85㎜	福　岡	1.85㎜
秋　田	1.90㎜	石　川	1.85㎜	奈　良	1.80㎜	佐　賀	1.85㎜
山　形	1.90㎜	福　井	1.90㎜	和歌山	1.80㎜	長　崎	1.80㎜
福　島	1.85㎜	山　梨	1.80㎜	鳥　取	1.85㎜	熊　本	1.85㎜
茨　城	1.85㎜	長　野	1.85㎜	島　根	1.90㎜	大　分	1.80㎜
栃　木	1.85㎜	岐　阜	1.80㎜	岡　山	1.85㎜	宮　崎	1.80㎜
群　馬	1.80㎜	静　岡	1.80㎜	広　島	1.85㎜	鹿児島	1.80㎜
埼　玉	1.80㎜	愛　知	1.85㎜	山　口	1.85㎜	沖　縄	1.80㎜
千　葉	1.80㎜	三　重	1.85㎜	徳　島	1.80㎜		

また、作柄の良否としての表示区分は以下の通りである。

作柄の良否	不良	やや不良	平年並み	やや良	良
作況指数	94以下	95～98	99～101	102～105	106以上

(3)　「10ａ当たり平年収量」とは、水稲の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢を基に作成したその年に予想される10ａ当たり収量をいう。

(4)　「10ａ当たり平均収量対比」とは、10ａ当たり平均収量（原則として直近７か年のうち、最高及び最低を除いた５か年の平均値）に対する当年産の10ａ当たり収量の比率をいう。

(5)　「被害面積」とは、農作物に損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に収穫されると見込まれる収量から減収した面積をいう。

(6)　「被害量」とは、農作物の栽培が開始されてから収納されるまでの期間に、災害等によって損傷を生じ、その被害が発生しなかったと仮定した場合に収穫されると見込まれる収量より減収した量をいう。

(7)　「被害率」とは、平年収量（作付面積×10ａ当たり平年収量）に対する被害量の比率をいう。

９　その他

沖縄県については、本公表時点で一部収穫を終えていない地域があり、収穫の状況によっては今後作柄が変動することがある。

これを含め、この資料の確定した詳細な数値は、ホームページに掲載（令和５年２月予定）するとともに、その後刊行する『令和４年耕地及び作付面積統計』及び『令和４年産作物統計』に掲載する。

なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【ホームページ掲載案内】

○　各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/ 】

この結果は、分野別分類「作付面積･生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類「米」の「作況調査（水陸稲、麦類、豆類、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】

【関連リンク】

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞農産局

https://www.maff.go.jp/j/nousan/

お問合せ先

◎本統計調査結果について

・作付面積に関すること

農林水産省　大臣官房統計部
生産流通消費統計課　面積統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3681
（直通）03-6744-2045
ＦＡＸ：　03-5511-8771

・収穫量に関すること

農林水産省　大臣官房統計部
生産流通消費統計課　普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3682
（直通）03-3502-5687
ＦＡＸ：　03-5511-8771

◎農林水産統計全般について

農林水産省　大臣官房統計部
統計企画管理官　統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線3589
（直通）03-6744-2037
ＦＡＸ：　03-3501-9644

政府統計

政府統計の総合窓口
（e-Stat）
https://www.e-stat.go.jp/